

授業概要

東南アジア地域は、隣接するインド亜大陸や中国大陸と古代から活発な交流があり、それぞれの文明圏の文化を取り込んで、独自の文化世界を形成してきたことを講義する。現在の東南アジア社会を特徴づける民族、文化の多様性と重層性が、どのように生じたのか。時と空間を経てもたらされた文化が、それぞれの地の自然環境、歴史的背景の中で取捨選択され、変容をとげ、定着し、現在につながる歴史について講義する。

授業計画

第1回	はじめに 東南アジアの特徴
第2回	東南アジアの自然地理
第3回	大陸部東南アジア①扶南
第4回	大陸部東南アジア②真臘
第5回	大陸部東南アジア③アンコール帝国
第6回	ポスト・アンコール
第7回	大陸部東南アジア④シャム王国
第8回	海域東南アジア①スマトラ、ジャワ
第9回	海域東南アジア②ジャワ東部、バリ
第10回	海域東南アジア③スマトラ
第11回	海域東南アジア④カリマンタン
第12回	海域東南アジア⑤スラウェシ
第13回	マラッカ海峡域
第14回	港市国家 レキオ王国
第15回	八重山と琉球王国
第16回	筆記試験

到達目標

- ①東南アジア地域の基礎的な歴史、文化の特徴が理解できる。
- ②現在の東南アジア地域の持つ文化的多元性、重層性がどのように形成されたのかが理解できる。

履修上の注意

東洋史概説の履修者がのぞましい。「東洋史特論Ⅰ、Ⅱ」と「東洋史特論Ⅲ」との関係はありません。

予習・復習

授業計画に従って、大学図書館などで基本的な知識を予習する。講義後は、プリントと参考文献を読んで知識を深めておくこと。

評価方法

授業中の態度、リアクシヨペーパーの内容 50%、学期末の筆記試験またはレポート 50%

テキスト

テキストは使用しない。授業中にプリントを配布する。参考文献は適宜紹介する。